

# 日本一、働きやすい県庁(しょくば)アンケート2024の概要

令和6年12月19日  
中央労使協働委員会  
労使協働小委員会

## 1 調査の目的

本アンケートは、県と県職員労働組合が「労使協働」の取組の一環として、職員の満足度や意欲・問題意識等に関する状況を把握し、今後の「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」の取組を推進していくために実施するものです。

## 2 調査方法

### (1)調査対象

職員 4,936人(派遣職員等を除く)を対象に実施しました。  
なお、有効回答者数は 3,073人、回答率 62.26%でした。

### (2)調査期間

令和6(2024)年10月8日～10月25日

### (3)調査内容

「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」を実現するために必要と考えられる6つのテーマに分類し、集計しました。

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| ① 安全・安心に関すること            | (設問6問) |
| ② 時間に関すること               | (設問5問) |
| ③ 男女共同に関すること             | (設問4問) |
| ④ 職場の「支えあい」を実現するために      | (設問5問) |
| ⑤ 意欲を持って働くために            | (設問6問) |
| ⑥ ライフ・ワーク・マネジメントを実現するために | (設問2問) |

計28問について、「そう思う」「やや思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢により、職員がどれだけ満足しているかについて調査を行いました。

また、追加調査として、昨年度の調査結果をふまえ、満足度の低い状況の詳細を把握するため、子ども・福祉部を対象に追加の質問項目を設けました。

### (4)算出方法

上記(3)の28問については各設問5点満点で、全体で100点満点となるように割り戻し算出しました。

また、追加調査では、仕事の満足度を高めるうえで重要と考えられる項目の設問について、傾斜配点により回答の重要度を算出しました。

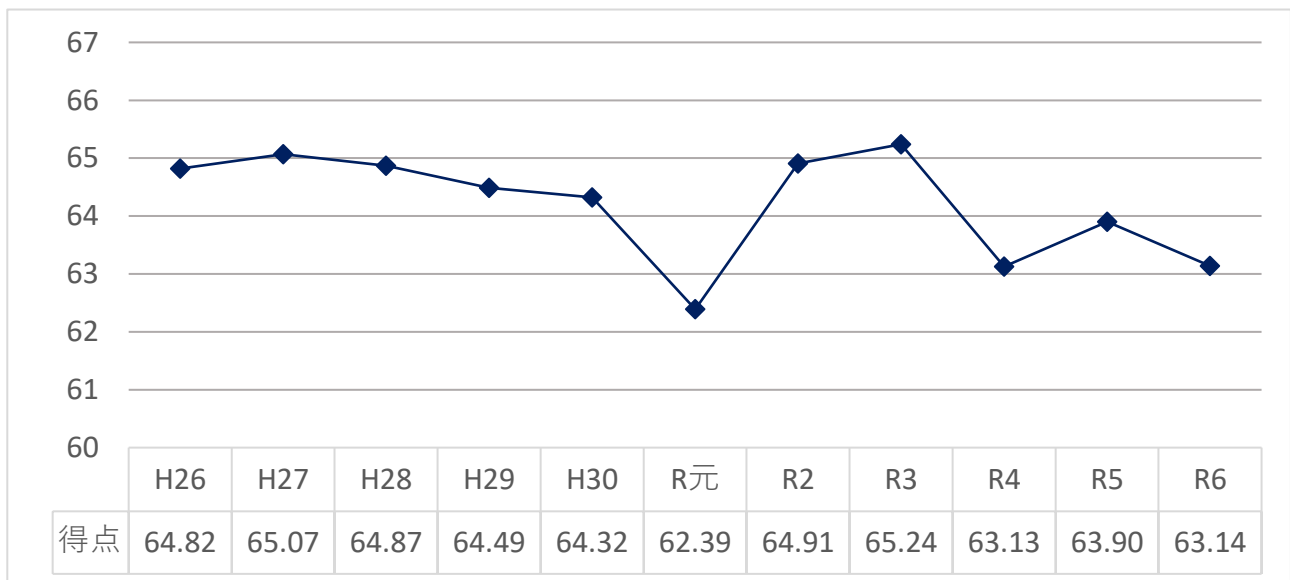
### 3 調査結果の概要

#### (1)全体の満足度(別紙1)

全体の満足度は63.14点となり、昨年度より0.76点低下したほか、現在の設問となったH26以降、過去11年間で下から3番目に低い満足度となりました。

(参考)職員アンケートの全体満足度得点推移

年度	全体満足度点数	順位
H26(2014)	64.82 点	5位
H27(2015)	65.07 点	2位
H28(2016)	64.87 点	4位
H29(2017)	64.49 点	6位
H30(2018)	64.32 点	7位
R元(2019)	62.39 点	11位
R2(2020)	64.91 点	3位
R3(2021)	65.24 点	1位
R4(2022)	63.13 点	10位
R5(2023)	63.90 点	8位
R6(2024)	63.14 点	9位



## (2)設問別の満足度

### ① 得点順の結果

順位	設問内容	得点	昨年度比
1	問 12 子育て・介護への理解	3.86 点	+0.01 点
2	問 4 仕事上の相談相手	3.71 点	+0.02 点
3	問 5 ハラスメント	3.70 点	+0.02 点
4	問 8 通勤時間	3.68 点	▲0.10 点
5	問 15 性別にかかわらず能力の発揮	3.67 点	▲0.02 点
6	問 13 男性職員の子育て・介護への理解	3.60 点	+0.04 点
7	問 16 人間関係	3.50 点	▲0.04 点
8	問 20 研修への参加	3.44 点	+0.01 点
9	問 7 休暇取得	3.42 点	▲0.07 点
10	問 18 情報共有	3.38 点	▲0.01 点
11	問 19 方針等決定への参加	3.38 点	+0.02 点
12	問 27 充実させていこうとする雰囲気	3.27 点	▲0.01 点
13	問 10 総勤務時間	3.23 点	▲0.10 点
14	問 23 正当な評価	3.17 点	▲0.01 点
15	問 14 子育て・介護の制度	3.12 点	▲0.03 点
16	問 9 仕事配分、業務量	3.11 点	▲0.06 点
17	問 3 心と体の健康	3.02 点	▲0.05 点
18	問 6 福利厚生の事業	2.91 点	▲0.04 点
19	問 2 精神的不安	2.85 点	▲0.04 点
20	問 17 連続休暇	2.81 点	▲0.02 点
21	問 22 個性や能力の発揮	2.80 点	▲0.03 点
22	問 24 給与	2.79 点	▲0.09 点
23	問 21 やりがい	2.78 点	▲0.08 点
24	問 28 充実した働き方、生き方	2.76 点	▲0.02 点
25	問 11 業務見直し	2.72 点	▲0.08 点
26	問 25 人事異動(配置)	2.70 点	▲0.09 点
27	問 1 職場環境	2.56 点	▲0.20 点
28	問 26 昇任のしくみ	2.48 点	▲0.01 点

## ② 昨年度との比較

昨年度比		設問内容	得点	順位
+0.04 点	問 13	男性職員の子育て・介護への理解	3.60 点	6
+0.02 点	問 4	仕事上の相談相手	3.71 点	2
+0.02 点	問 5	ハラスメント	3.70 点	3
+0.02 点	問 19	方針等決定への参加	3.38 点	11
+0.01 点	問 12	子育て・介護への理解	3.86 点	1
+0.01 点	問 20	研修への参加	3.44 点	8
▲0.01 点	問 18	情報共有	3.38 点	10
▲0.01 点	問 27	充実させていこうとする雰囲気	3.27 点	12
▲0.01 点	問 26	昇任のしくみ	2.48 点	28
▲0.01 点	問 23	正当な評価	3.17 点	14
▲0.02 点	問 15	性別にかかわらず能力の発揮	3.67 点	5
▲0.02 点	問 28	充実した働き方、生き方	2.76 点	24
▲0.02 点	問 17	連続休暇	2.81 点	20
▲0.03 点	問 14	子育て・介護の制度	3.12 点	15
▲0.03 点	問 22	個性や能力の発揮	2.80 点	21
▲0.04 点	問 6	福利厚生の実業	2.91 点	18
▲0.04 点	問 2	精神的不安	2.85 点	19
▲0.04 点	問 16	人間関係	3.50 点	7
▲0.05 点	問 3	心と体の健康	3.02 点	17
▲0.06 点	問 9	仕事配分、業務量	3.11 点	16
▲0.07 点	問 7	休暇取得	3.42 点	9
▲0.08 点	問 11	業務見直し	2.72 点	25
▲0.08 点	問 21	やりがい	2.78 点	23
▲0.09 点	問 25	人事異動(配置)	2.70 点	26
▲0.09 点	問 24	給与	2.79 点	22
▲0.10 点	問 10	総勤務時間	3.23 点	13
▲0.10 点	問 8	通勤時間	3.68 点	4
▲0.20 点	問 1	職場環境	2.56 点	27

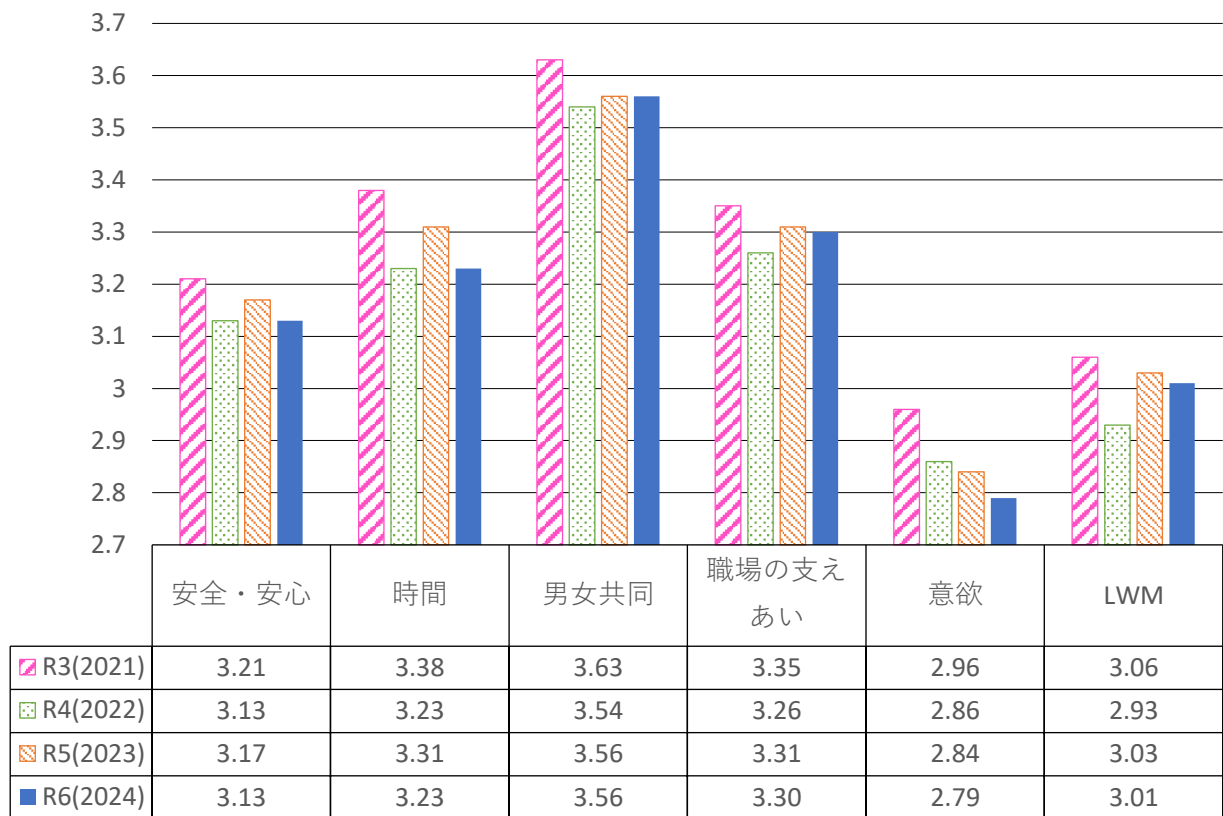
### (3)テーマ別の満足度

直近4年間で6つのテーマ毎に集計したところ、いずれの年度も「男女共同」に関する満足度が最も高く、「意欲」に関する満足度が最も低い傾向があります。

令和6年度は、全てのテーマにおいて昨年度と同じか昨年度よりも低い点数となり、中でも「時間」において昨年度からの減少幅が大きくなりました。また、「安全・安心」「時間」「意欲」に関する満足度は、直近4年間で最も低い結果となりました。

有識者による分析においては、満足度全体に大きな影響を及ぼす要因として、「総勤務時間」「業務量」とともに、「仕事へのやりがい」「人事配置」や「仕事を進める上での精神的不安」「心と体の健康に対する配慮」などが重要であるとされています。

引き続き、各所属・各部局における業務の見直しに加え、現在の仕事・配置に対する納得感を高めるような施策や、安心して仕事に取り組める職場づくりに取り組んでいく必要があります。



#### (4)属性別の満足度(別紙2)

##### ① 所属区分別

所属区分別の満足度については、昨年度同様、「県立学校」が最も高い結果となりました。また、昨年度と比較して、「地域庁舎の事務所」では大きく増加しましたが、それ以外は低下しました。

順位	所属	得点	昨年度比
1	県立学校	67.15 点	▲0.87 点
2	地域庁舎の事務所	63.90 点	+1.22 点
3	他の地域機関	63.80 点	▲2.28 点
4	本庁	61.98 点	▲1.32 点

##### ② 部局別

部局別の満足度については、上位3位が「病院事業庁」(79.65点)、「出納局」(75.04点)、「各種委員会」(70.38点)となる一方、下位3位が「観光部」(51.02点)、「子ども・福祉部」(57.09点)、「政策企画部」(59.18点)という結果となりました。

また、昨年度と比較すると、「病院事業庁」(+9.65点)や「各種委員会」(+8.69点)において増加幅が大きくなり、「観光部」(▲14.14点)や「政策企画部」(▲6.11点)において減少幅が大きくなりました。

部局別の満足度を所属区分(本庁/地域庁舎の事務所/他の地域機関/県立学校)別に確認したところ、特に昨年度からの増減幅が大きい部局は次のとおりでした。

#### 【昨年度から 5.00 点以上点数が増加した部局】

所属	得点	昨年度比	プラスが大きい上位3項目
病院事業庁	79.65 点	+9.65 点	①「9 仕事配分、業務量」+1.58 点 ②「23 正当な評価」+1.13 点 ③「25 人事異動(配置)」+0.86 点
各種委員会	70.38 点	+8.69 点	①「27 充実させていこうとする雰囲気」+0.69 点 ②「17 連続休暇」+0.65 点 ③「10 総勤務時間」 「14 子育て・介護の制度」+0.64 点
子ども・福祉部 (本庁)	52.34 点	+5.08 点	①「17 連続休暇」+0.60 点 ②「2 精神的不安」+0.56 点 ③「5 ハラスメント」 「28 充実した働き方、生き方」+0.47 点

## 【昨年度から 5.00 点以上点数が減少した部局】

所属	得点	昨年度比	マイナスが大きい上位3項目
防災対策部 (他の地域機関)	55.56 点	▲16.27 点	①「21 やりがい」▲2.17 点 ②「25 人事異動(配置)」▲1.78 点 ③「11 業務見直し」▲1.39 点
観光部	51.02 点	▲14.14 点	①「28 充実した働き方、生き方」▲1.04 点 ②「1 職場環境」▲1.03 点 ③「13 男性職員の子育て・介護への理解」▲1.01 点
政策企画部 (本庁)	55.16 点	▲8.81 点	①「3 心と体の健康」 「8 通勤時間」▲0.71 点 ③「2 精神的不安」 「21 やりがい」▲0.66 点
教育委員会事務局 (地域庁舎の事務所)	72.74 点	▲8.08 点	①「11 業務見直し」▲1.09 点 ②「19 方針等決定への参加」▲0.96 点 ③「25 人事異動(配置)」▲0.89 点
雇用経済部 (本庁)	58.95 点	▲5.85 点	①「19 方針等決定への参加」▲0.57 点 ②「7 休暇取得」▲0.54 点 ③「17 連続休暇」 「27 充実させていこうとする雰囲気」▲0.49 点

### ③ 地域庁舎別

地域庁舎別の満足度については、「熊野庁舎」(67.88点)が最も高く、「伊勢(志摩)庁舎」(62.26点)が最も低い結果となりました。

また、「津庁舎」の満足度が昨年度から大きく増加した一方で、昨年度上位であった「伊勢(志摩)庁舎」では、昨年度からの減少幅が大きくなりました。

順位	地域庁舎	得点	昨年度比
1	熊野庁舎	67.88 点	▲2.23 点
2	桑名庁舎	65.74 点	▲0.54 点
3	尾鷲庁舎	64.48 点	▲0.80 点
4	松阪庁舎	64.38 点	+0.63 点
5	伊賀庁舎	64.37 点	+3.28 点
6	四日市庁舎	63.86 点	+1.37 点
7	鈴鹿庁舎	63.45 点	+3.55 点
8	津庁舎	63.35 点	+5.61 点
9	伊勢(志摩)庁舎	62.26 点	▲5.19 点

#### ④ 役職別

役職別の満足度については、例年同様、「課長級以上」が最も高く、「課長補佐級(主幹等)」が最も低い結果となりました。また、昨年度と比較して、「課長級以上」と「一般(主事、技師)」の減少幅が大きくなりました。

順位	役職	得点	昨年度比
1	課長級以上	71.49 点	▲2.04 点
2	一般(主事、技師)	65.11 点	▲2.67 点
3	主査級	61.62 点	+0.17 点
4	課長補佐級(本庁の班長、地域の課長)	60.49 点	+0.06 点
5	主任級	60.25 点	▲1.33 点
6	課長補佐級(主幹等)	59.22 点	+0.95 点

#### ⑤ 勤続年数別

勤続年数別の満足度については、「5年目以下」が最も高く、「6年目～10年目」が最も低い結果となりました。また、「31年目～35年目」を除いて昨年度よりも低下しました。

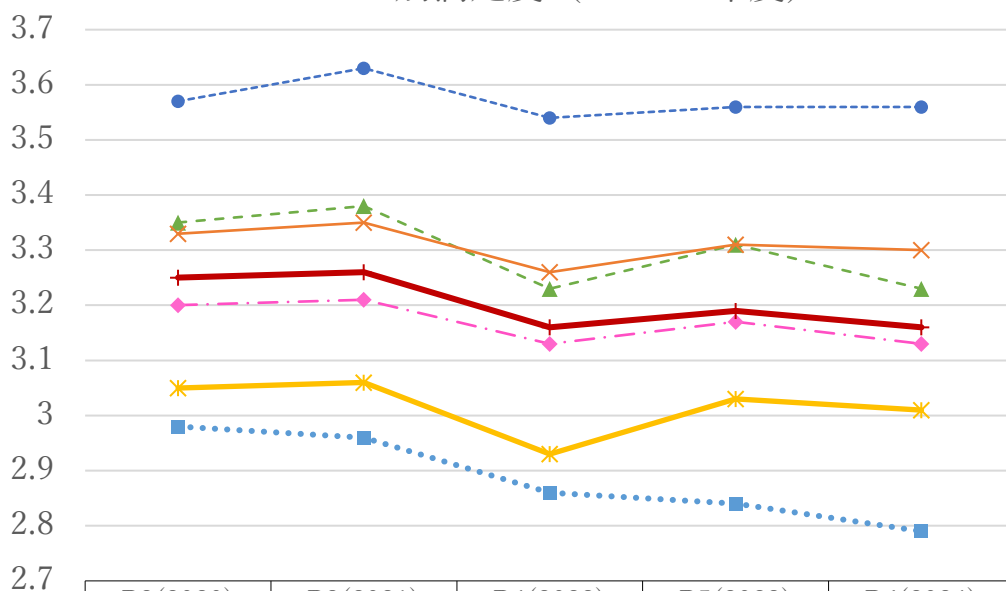
順位	勤続年数	得点	昨年度比
1	5年目以下	66.79 点	▲0.83 点
2	36年目以上	66.22 点	▲2.31 点
3	31年目～35年目	63.93 点	+0.10 点
4	16年目～20年目	61.38 点	▲2.11 点
5	26年目～30年目	60.68 点	▲0.03 点
6	11年目～15年目	60.32 点	▲0.21 点
7	21年目～25年目	60.24 点	▲0.01 点
8	6年目～10年目	60.11 点	▲2.09 点



### (5)テーマ別分析

- ・いずれの年度も、「Ⅱ時間」「Ⅲ男女共同」「Ⅳ職場の支えあい」の点数が全体よりも高く、「Ⅰ安全・安心」「Ⅴ意欲」「Ⅵライフ・ワーク・マネジメント」の点数が全体よりも低くなっています。
- ・「Ⅴ意欲」の点数が、R2年度以降低下し続けており、全ての年度において点数が最も低くなっています。

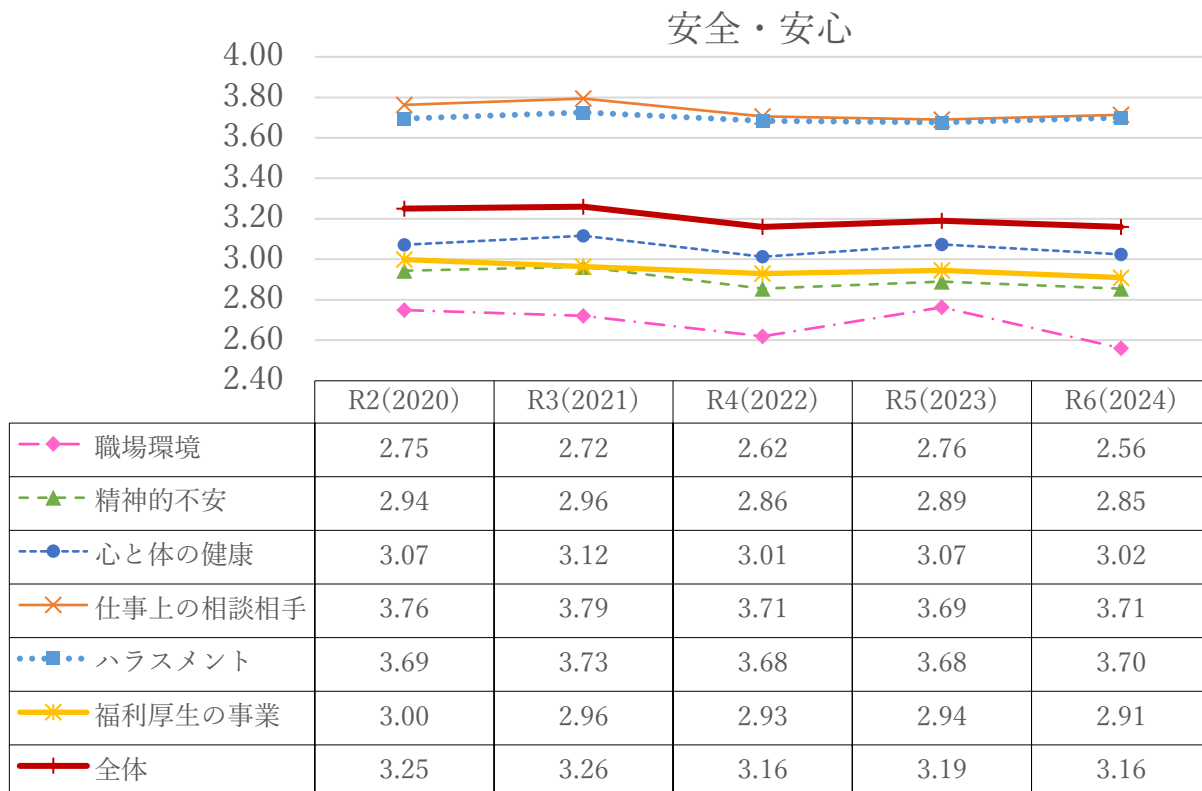
テーマ別満足度（R2～R6年度）



	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
Ⅰ 安全・安心	3.2	3.21	3.13	3.17	3.13
Ⅱ 時間	3.35	3.38	3.23	3.31	3.23
Ⅲ 男女共同	3.57	3.63	3.54	3.56	3.56
Ⅳ 職場の支えあい	3.33	3.35	3.26	3.31	3.30
Ⅴ 意欲	2.98	2.96	2.86	2.84	2.79
Ⅵ LWM	3.05	3.06	2.93	3.03	3.01
全体	3.25	3.26	3.16	3.19	3.16

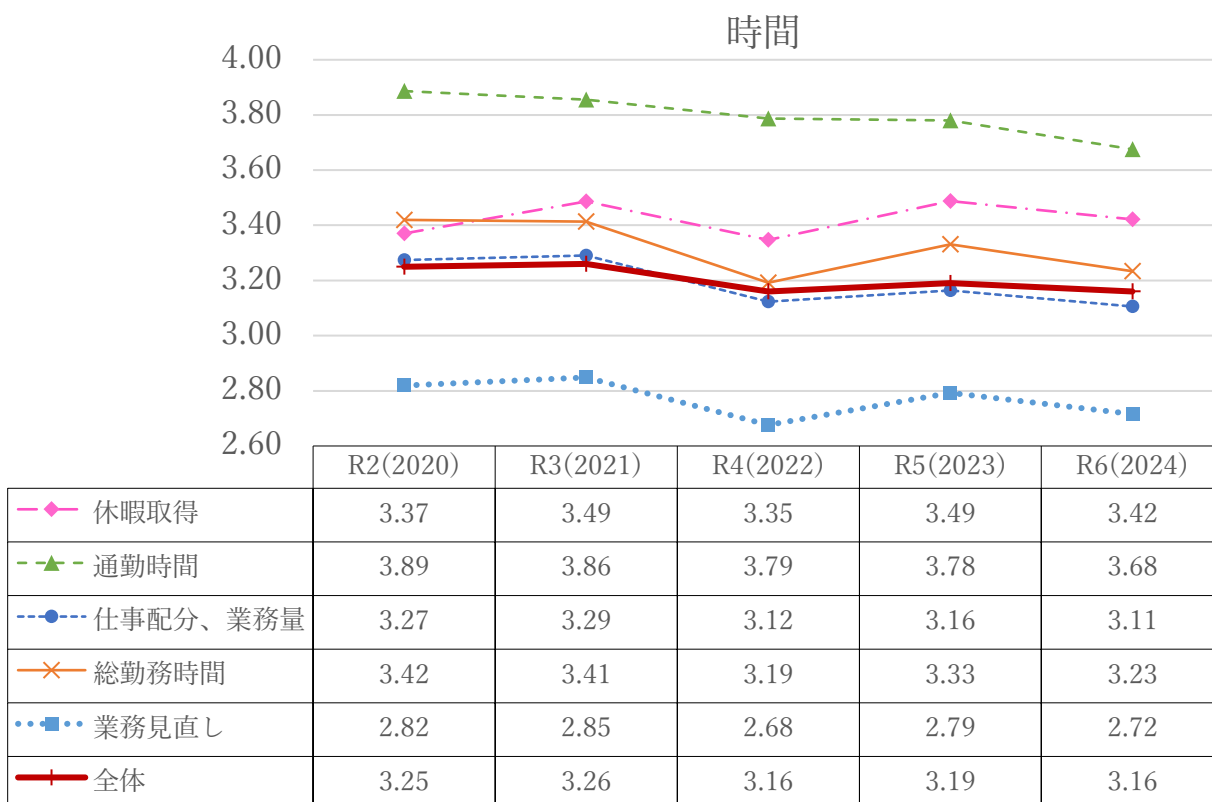
## I 安全・安心

多くの設問であまり変動がないなか、「職場環境」の増減が大きく、特に昨年度から今年度にかけての落ち込みが大きくなりました。



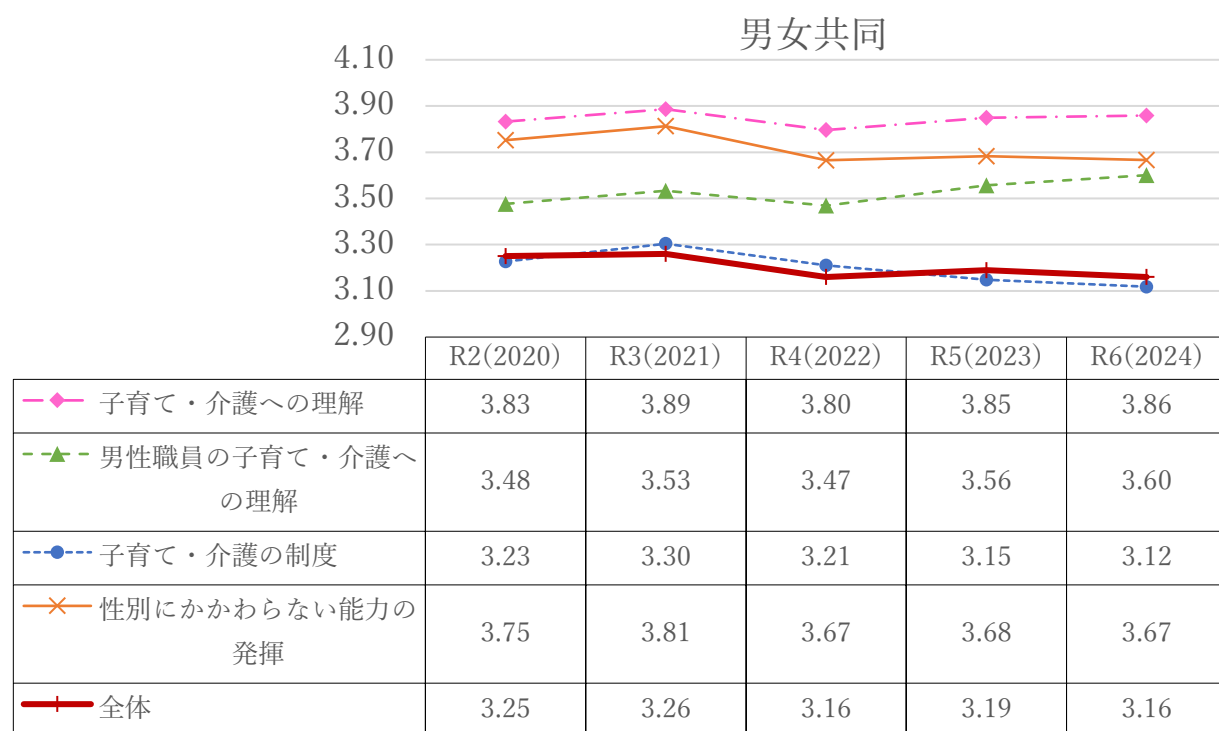
## II 時間

いずれの年度も、「業務見直し」の点数が突出して低くなっています。



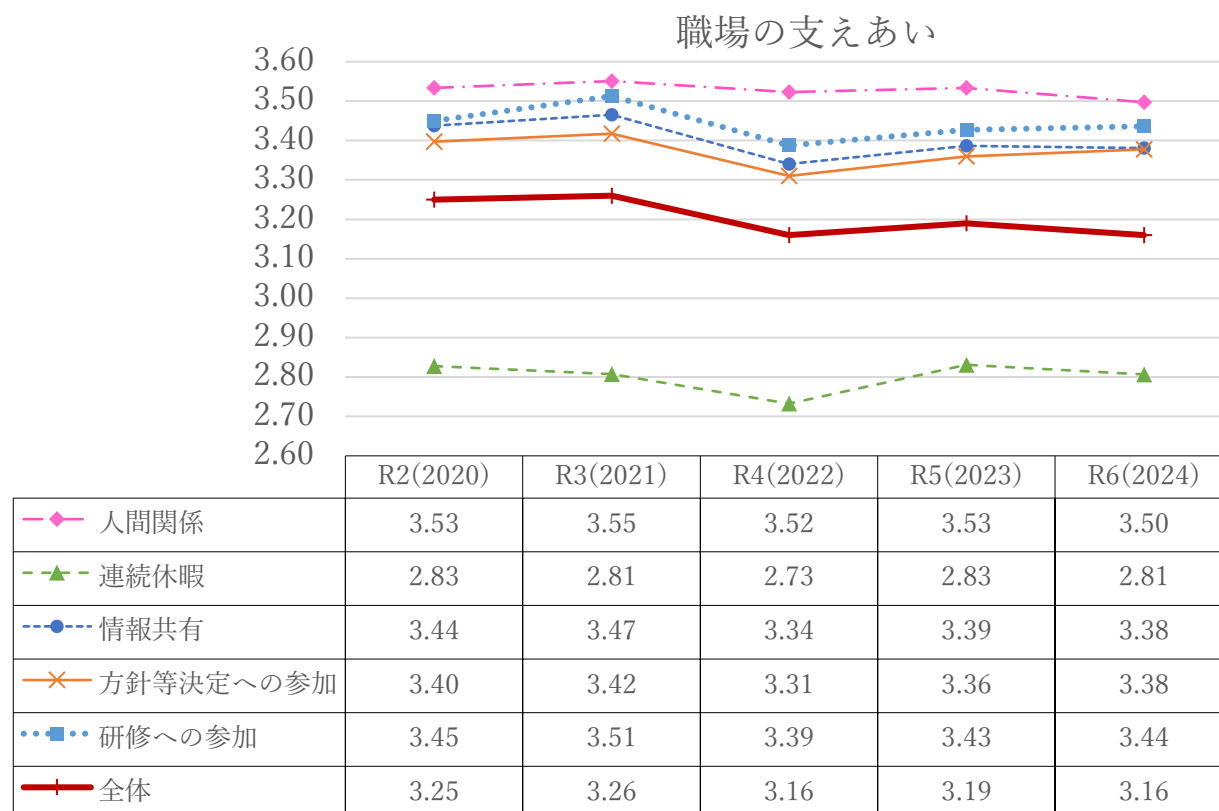
### Ⅲ男女共同

- ・全体的に、全体より高い点数をとっています。
- ・R4年度以降、「男性職員の子育て・介護への理解」の点数が上昇している一方で、「子育て・介護の制度」では点数が低下しています。



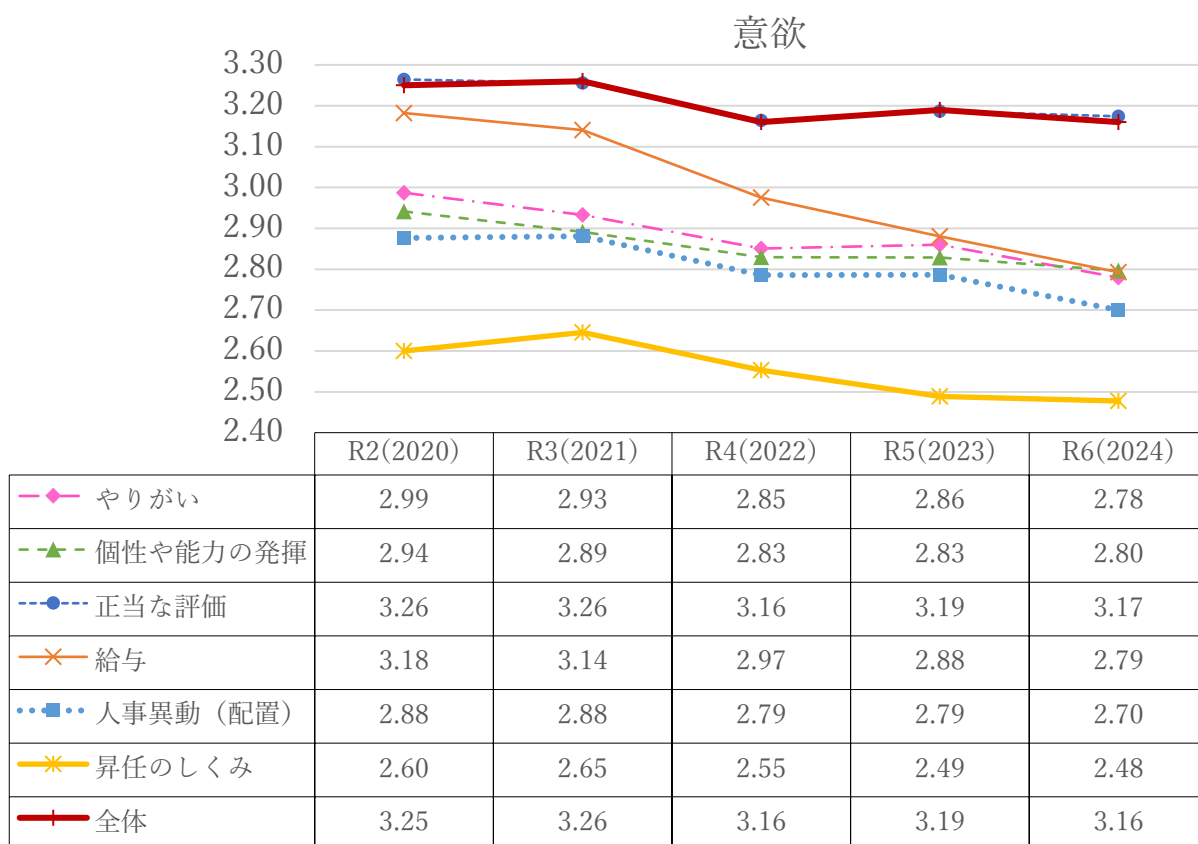
### Ⅳ職場の支えあい

- ・いずれの年度も、「連続休暇」の点数が突出して低くなっています。



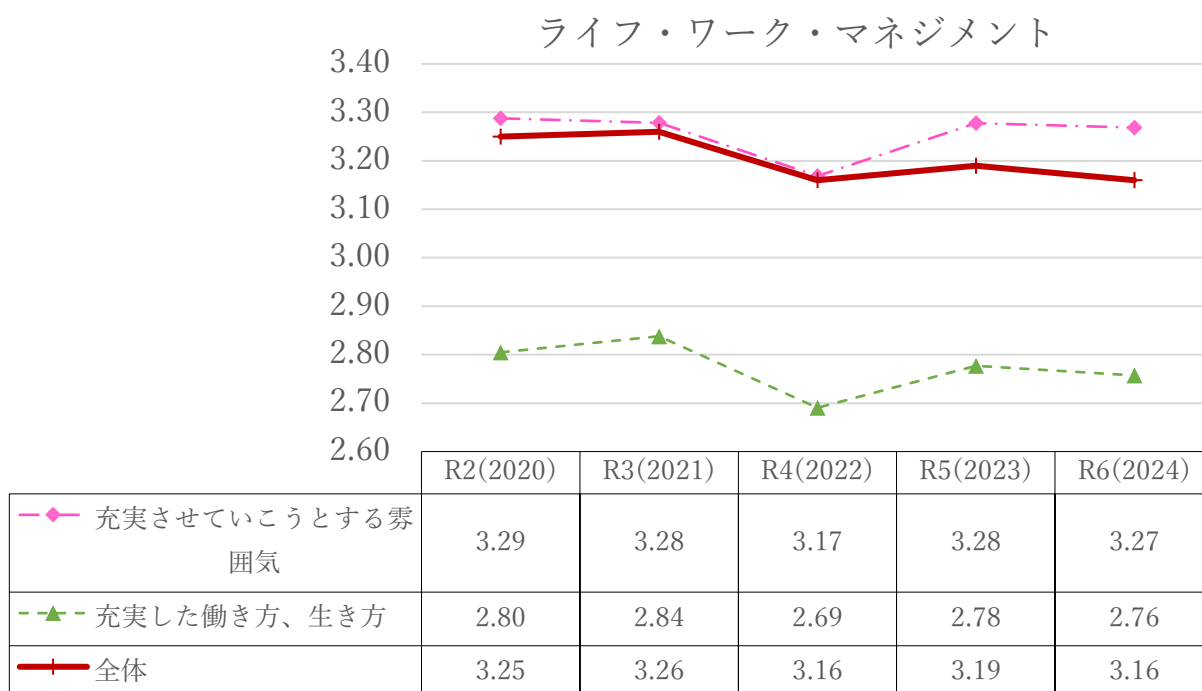
## V意欲

- ・R2年度以降「給与」の点数が低下し続けており、減少幅も大きくなっています。
- ・「正当な評価」を除き、全ての年度で全体点数を下回っています。
- ・「昇任のしぐみ」については、全ての年度において全28問中最下位となっています。



## VIライフ・ワーク・マネジメント

- ・ライフもワークも充実させようとする雰囲気はあるものの、個人の充実した働き方や生き方につながっているとは言えない状況です。



## (6)子ども・福祉部における追加アンケートの結果について

昨年度のアンケートの結果において、子ども・福祉部の満足度が他の部局よりも低くなったことをふまえ、職場の実態と詳細を把握するため、昨年度に引き続き、子ども・福祉部職員を対象とした追加のアンケートを実施しました。

質問:あなたの仕事の満足度を高めるうえで、重要なものは何ですか。

重要と考えられる順に、3つ選択してください。

- ①職場の環境(スペース、温度等)、②精神的安定、③健康への配慮、④休暇、  
⑤業務量、⑥業務見直し、⑦人間関係、⑧やりがい、⑨評価、⑩給与、⑪その他

### 〈集計結果〉

#### 本庁(回答数:95)

項目	最も重要	2番目	3番目	ポイント計
⑤業務量	39	17	11	162
⑦人間関係	21	15	10	103
①職場の環境	8	8	21	61
②精神的安定	10	10	11	61
⑥業務見直し	1	21	7	52

#### 単独地域機関(回答数:44)

項目	最も重要	2番目	3番目	ポイント計
⑦人間関係	14	12	4	70
②精神的安定	10	9	3	51
⑤業務量	5	5	8	33
⑩給与	4	4	5	25
④休暇	3	4	5	22

#### 児童相談所(回答数:60)

項目	最も重要	2番目	3番目	ポイント計
⑤業務量	18	10	8	82
②精神的安定	12	11	12	70
⑦人間関係	13	6	7	58
⑩給与	6	6	5	35
⑧やりがい	4	5	3	25

#### 福祉事務所(回答数:15)

項目	最も重要	2番目	3番目	ポイント計
②精神的安定	5	3	5	26
⑤業務量	3	3	3	18
⑦人間関係	3	4	1	18
③健康への配慮	0	3	1	7
⑥業務見直し	2	0	0	6

※重要と答えた順に「1番:3ポイント」「2番:2ポイント」「3番:1ポイント」として配点し、合計ポイントを算出しています。

※所属区分ごとに上位5位までを掲載しています。

満足度を高めるうえで重要な要素として、「本庁」「児童相談所」においては、昨年度同様「業務量」が1位となったほか、いずれの所属区分においても「人間関係」「精神的安定」が上位となりました。また、「本庁」においては「職場の環境」も重要な要素となっています。

自由記述においても、「業務量に応じた定数配置」「業務改善」などの業務の負担軽減や、職場環境の改善を求める声が多くあったことから、これらは、満足度を高めるための大きな要因となっています。

通常設問(問1～問28)の結果を見ると、子ども・福祉部の満足度については、昨年度より「本庁」においては5.08ポイント、「児童相談所」においては4.00ポイント増加しており、設問別では「仕事配分、業務量(問9)」に加え「精神的不安(問2)」、「心と体の健康(問3)」等の項目が特に向上していることから、本アンケートで把握できたこれらの要因をふまえ、引き続き動向を注視していく必要があります。

### (参考)

◎子ども・福祉部(本庁)・・・ R5: 47.26点 ⇒ R6: 52.34点 (+5.08ポイント)

「仕事配分、業務量」+0.30点、「精神的不安」+0.56点、「心と体の健康」+0.34点

◎児童相談所・・・ R5: 57.11点 ⇒ R6: 61.11点 (+4.00ポイント)

「仕事配分、業務量」+0.33点、「精神的不安」+0.12点、「心と体の健康」+0.47点

## (7)日本一、働きやすい県庁(しょくば)の推進に向けての自由記述意見

668人の職員から回答がありました。主な意見は次のとおりです。

※件数には重複あり

### ○組織風土に関する意見 163 件

- ・職員の想いが共有され、仕事においても意見が反映されることが重要。気兼ねなく意見を出し合えるよう、職場内で対話を進めることが不可欠。
- ・県庁全体がひとつの組織として、情報共有や協力できる体制にしていく必要がある。
- ・業務の削減や効率化が個人の努力に任されている。管理職が中心となって進めてほしい。
- ・「ミスを許さない」雰囲気が強く、チャレンジする意欲がわからない。

### ○業務量に関する意見 149 件

- ・業務が多すぎて停滞しており、休暇が取りづらい状況が続いている。
- ・部署によって業務量の差が激しく、平準化する必要がある。
- ・生活(ライフ)を犠牲にしなければならないほどの業務量(ワーク)がある。
- ・時間外が前提の業務量である。業務削減が進んでいない。

### ○人事に関する意見 107 件

- ・本人の希望や能力、適性を十分考慮した適切な人員配置をお願いしたい。
- ・人事異動の告知時期を早めてほしい。

### ○定数に関する意見 104 件

- ・業務量に対して人員が不足している。業務量に見合った適切な人員配置をしてほしい。
- ・正規職員の数を増やしてほしい。
- ・育休・病休取得職員の人員減をフォローする仕組みを充実させてほしい。周囲の職員に負担がいかないような人員体制としてほしい。

### ○勤務制度に関する意見 70 件

- ・在宅勤務がもっとしやすいような環境づくりを求める。
- ・フレックスタイム制・週休3日制など、勤務時間をもっと柔軟に選択できるようにしてほしい。
- ・部分休業の対象を、小学校低学年まで広げてほしい。
- ・子育てだけでなく、介護についても十分な支援をお願いしたい。

### ○執務環境に関する意見 69 件

- ・執務スペースが狭すぎる。打ち合わせスペースがない。ロッカーが不足している。
- ・夏季の空調運転に関して、もう少し柔軟に運用してほしい。来年度以降も、ノー残業デーも含めた空調の稼働を継続してほしい。
- ・施設の老朽化が激しい。机やいすが古い。PCの動作が悪い。

### ○その他

- ・ペーパーレスやWeb会議・Slackの活用など、デジタル化への取組を全庁的に進めてほしい。
- ・NKパソコンへの移行後も、在宅勤務システムの利用を継続してほしい。
- ・全庁的な人材育成が必要。職場での人材育成に依存せず、採用時や役職別の必須研修を増やしてほしい。
- ・カスハラや公共的でない個人的要請への対応が必要。
- ・パワハラの実態把握を行ってほしい。